

第2期宇都宮市
まち・ひと・しごと
創生総合戦略
(素案)

令和 年 月

宇都宮市

【 目 次 】

1 総論

- (1) 策定の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (2) 総合戦略の計画期間について・・・・・・・・・・・・ 1
- (3) 総合戦略の位置付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- (4) 目指すべき将来の方向・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

2 各論

基本目標 1（自然動態に関する目標）

- 市民の結婚・出産・子育ての希望を実現する・・・・・・・・ 4

基本目標 2（社会動態に関する目標）

- 人口の定着と東京圏からの流入人口の増加を図る・・・・・・・・ 1 1

基本目標 3（都市基盤に関する目標）

- 人口規模・構造の変化に適合したまち、
ネットワーク型コンパクトシティを実現する・・・・・・・・ 1 8

3 総合戦略の着実な推進に向けて・・・・・・・・・・・・ 2 7

4 SDGsの17の目標との関係性・・・・・・・・・・・・ 2 9

(1) 策定の趣旨

国においては、今後、加速する人口減少に的確に対応するため、2014年（平成26年）11月に「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、地方における人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏の一極集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある社会を維持していくことに取り組む「地方創生」を打ち出したところであり、同年12月に「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

これを受け、本市においても、21世紀の半ばの2050年を見通した長期的な視点で、まちづくりの方向性について示した「宇都宮市人口ビジョン」を策定したところであり、その着実な実現に向け、地方創生に切れ目なく取り組む必要があることから、今後5か年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめた「(仮称)第2期宇都宮市 まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定します。

【策定にあたっての基本的な考え方】

本市では、社会経済環境等の時代潮流の変化や、多様化・複雑化する市民の価値観やニーズを捉え、今後とも、それらに的確に対応していくため、目指すべき将来の都市像を構築し、その具体化を図るためのまちづくりの指針として「第6次宇都宮市総合計画」をまとめました。

この中で、「輝く人の和 つながるまちの環 魅力と夢の輪 うつのみや」をまちづくりの目標として掲げ、市民・事業者・行政など、多様な主体による連携した「協働のまちづくり」を推進しています。

まちづくりの目標には、地方創生の基本的な方向性が先取りして盛り込まれており、人口減少時代にあっても、持続的な発展が可能な都市の実現に向けた取組を着実に進めているところです。

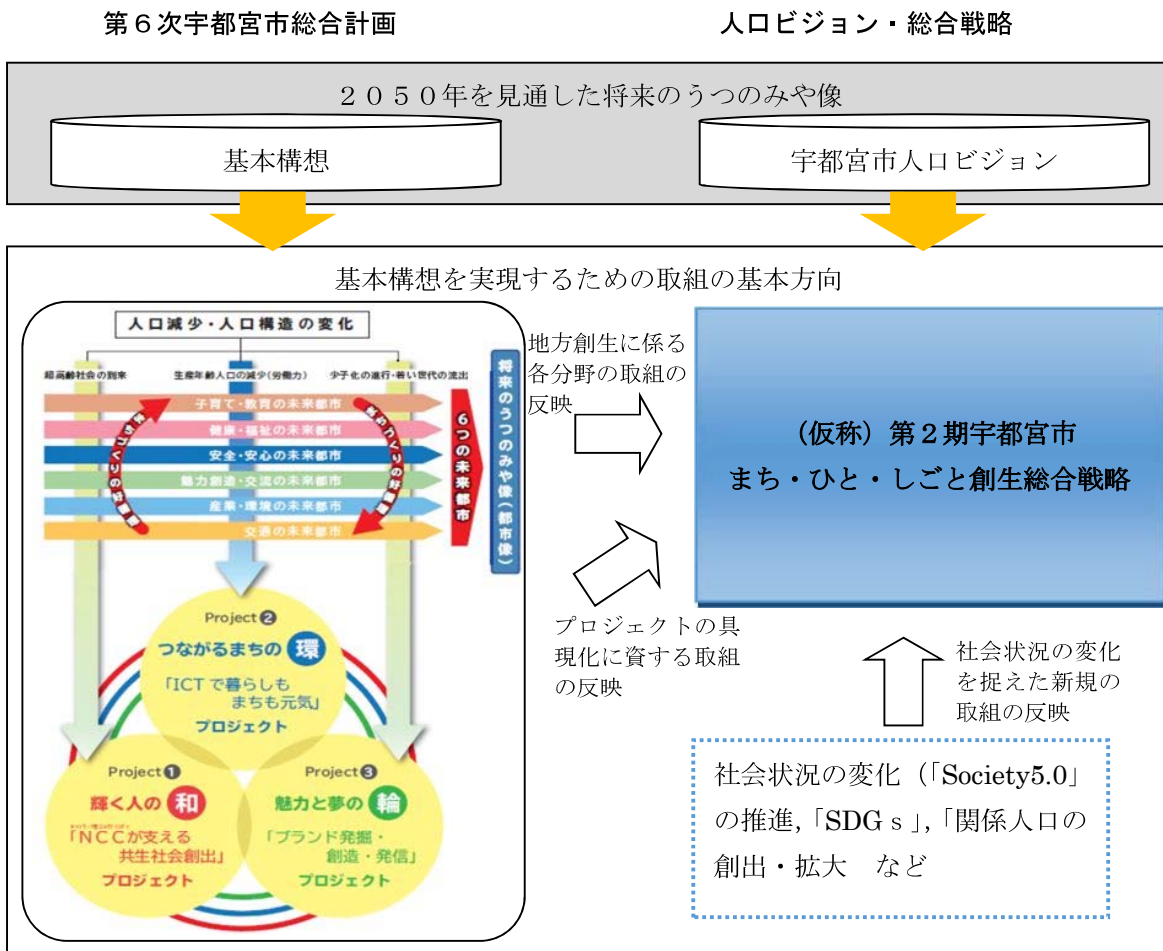
こうしたことから、「(仮称)第2期宇都宮市 まち・ひと・しごと創生総合戦略」につきましては、本市の総合計画に掲げられた施策等を基本としつつ、社会状況の変化を捉え、新たな施策事業を盛り込んで策定します。

(2) 総合戦略の計画期間について

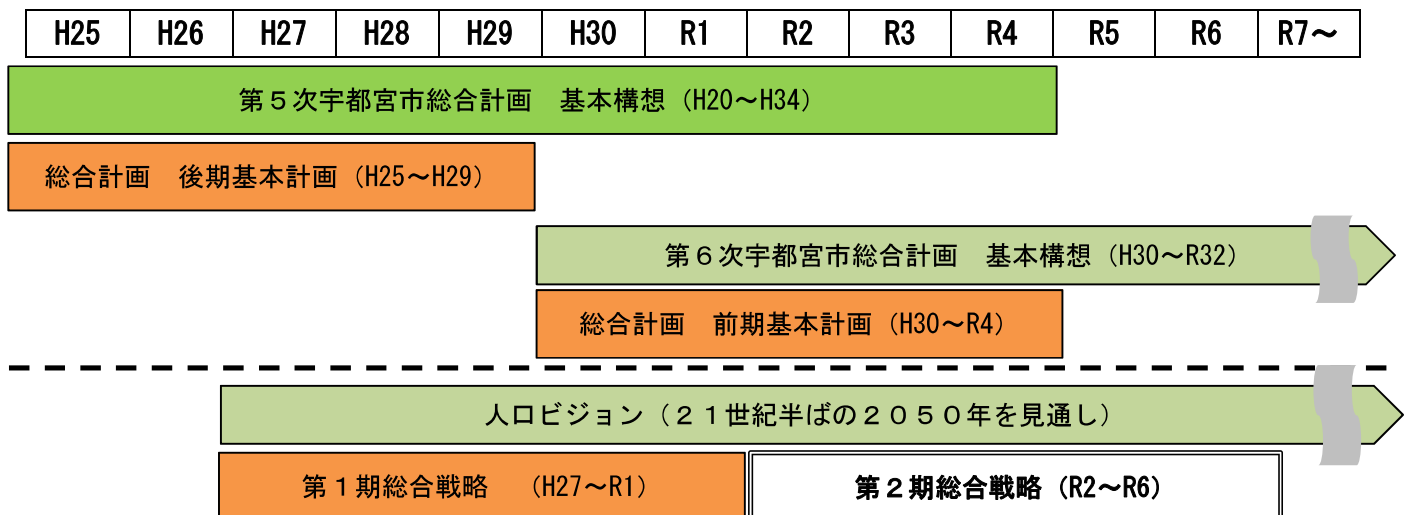
計画期間は、2020（令和2）年度から2024（令和6）年度までの5年間とします。

(3) 総合戦略の位置付け

「(仮称) 第2期宇都宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、本市の人口の現状と2050年を見通した、「宇都宮市人口ビジョン」を踏まえるとともに、本市のまちづくりの指針である「総合計画」に掲げた多様な施策を基本に、基本目標や施策に関する基本的方向、具体的な施策及び、施策ごとの重要業績評価指標（KPI）をまとめます。



【計画期間】



- ・ また、本戦略に掲げる取組を着実に推進することにより、SDGs の 17 のゴールの達成に貢献し、これらを原動力とした持続可能なまちの実現を目指します。

◎SDGs とは



持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連サミットで採択された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組むとともに、本市においては、「SDGs未来都市」として、全庁を挙げてSDGsを推進しております。

※本戦略とSDGsの17の目標との関係性については、巻末一覧表に掲載しております。

(4) 目指すべき将来の方向

今後のまちづくりの方向性について、人口の「自然動態」、「社会動態」及び「都市基盤」の3つの視点で整理し、取組を進めていきます。

《 人口の「自然動態」に関する視点 》

少子化傾向に歯止めをかけるためには、結婚、妊娠・出産・子育てに関する、不安や負担感などを解消していくとともに、出会いの場や、出産・子育てしやすい環境を整備していくことなどにより、若い世代の結婚や、子どもを生き育てたいという希望を実現していく必要があります。

また、女性や高齢者、障がい者、外国人など、誰もが活躍できる仕組みづくりを推進するなど、子育て世代以外も含めた、地域全体で子育て・子育てを支援する体制の整備に取り組めます。

⇒ 「結婚・出産・子育ての希望の実現と、誰もが健康で活躍できる社会を実現する」

《 人口の「社会動態」に関する視点 》

今後、栃木県内においても人口減少が進んでいくことから、県内市町から本市への転入者数も減少していく可能性がある中で、将来にわたって本市の活力を維持していくためには、新たな人の流れをつくることで、転出者数が転入者数を大きく上回っている状況にある東京圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）からの流入人口を増加させるとともに、市内からの流出人口を抑制し、本市への定着を図っていくことが必要です。

また、将来的な移住への裾野を広げ、地域活性化に寄与するものとして、市外に主に居住しており、まちづくりや副業・兼業など多様な形で本市と関わりを持つ「関係人口」の拡大に向け、本市の魅力の発信に取り組みます。

⇒ 「働く場や魅力の創出などによる東京圏等からの 流入人口・関係人口の拡大を図る」

《 「都市基盤」形成に関する視点 》

将来にわたって市民生活の質や都市の活力を維持・向上し、安全・安心で持続的に発展できるまちを実現するため、本市の中心市街地や各地域の既存コミュニティなどの地域特性を踏まえた各種都市機能を集積する「拠点化」と、都市の骨格となる交通から日常生活の身近な移動を支える交通まで、階層性を持った総合的な交通ネットワークによって拠点間の連携・補完を図る「ネットワーク化」を一体的に進める「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成を推進します。

また、LRT整備を契機としたLRT沿線のまちづくりに取り組み、産業活動や経済活性化、交流人口の増加など、本市のポテンシャルを最大限生かし、更なる発展につなげていきます。

さらに、飛躍的に進化するAIやIoTなどのICTの恩恵を誰もが受けられ、豊かで幸せに生活できる社会を構築するとともに、台風等の局地的な豪雨災害に対応するための総合的な治水・雨水対策の推進等あらゆる災害や危機への対応や備えを強化するなど安全・安心なまちづくりを推進します。

⇒ 「便利で暮らしやすいまち、ネットワーク型コンパクトシティを実現する」

結婚・出産・子育ての希望と、誰もが健康で活躍できる社会を実現する

市民の結婚・出産・子育てへの希望を実現し、少子化の流れを変えるためには、まず、若年層をはじめとした経済的な安定を図っていくことが重要であり、結婚につながる出会いの場の創出、安心して妊娠・出産・子育てすることができる環境づくりなど、切れ目のない支援に取り組みます。

また、女性や高齢者、障がい者、外国人など、誰もが健康で自立した生活が送れるよう、あらゆる場面で活躍できる仕組みづくりを推進します。

1 講ずべき施策に関する基本的方向

- ◆ 結婚や子どもを持つことを願う若い世代の希望がかなえられるよう、経済的な安定や結婚につながる支援などの充実を図る。
- ◆ 市民が安心して、妊娠・出産することができる支援の充実と、地域全体ですべての子どもや若者、子育て家庭を支え合う社会の実現を図る。
- ◆ すべての子育て家庭を支援するための教育・保育サービスの充実を図る。
- ◆ 女性や高齢者、障がい者、外国人などが健康で自立した生活を送りながら、あらゆる場面で活躍できる社会の実現を図る。

成果指標	現状値		目標値	
	年度	割合	年度	割合
宇都宮市で子育てをしていきたいと思う親の割合	H28	95.9%	R4	98.5%
社会活動等に参加している高齢者の割合	H28	31.7%	R4	38.9%

2 具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指標

- ◆ 結婚や子どもを持つことを願う若い世代の希望がかなえられるよう、経済的な安定や結婚につながる支援などの充実を図る。

(1) 若い世代の経済的安定の実現

区分	重要業績評価指標 (KPI)	現状値		目標値	
産出	市主催就職支援事業への参加者数	H30	183人	R4	240人
成果	雇用保険受給者実人員数	H30	18,883人	R4	18,972人

<主な施策事業>

- 就労・雇用対策の充実
 - ・多様な人材の就職と雇用支援の充実
 - ・働きやすい労働環境づくりの推進
- 中小企業の経営・技術革新の促進
 - ・高度技術開発の促進
 - ・先進的企業経営の促進
 - ・地域産業を担う人材の育成

(2) 結婚の希望をかなえる支援の拡充

区分	重要業績評価指標 (KPI)	現状値		目標値	
産出	結婚の希望をかなえる支援のための結婚活動に役立つセミナー等事業の参加率	H30	92.6%	R4	現状より増加
成果	結婚したいと思う人の割合(20代)	H30	64.5%	R4	83.0%

<主な施策事業>

- 結婚の希望をかなえる支援の拡充
 - ・家族観・結婚観の醸成
 - ・結婚の希望をかなえる支援の充実
- 男女共同参画の推進
 - ・男女共同参画意識の醸成
 - ・地域・社会における男女共同参画の推進
 - ・職業生活における女性活躍の推進

- ◆ 市民が安心して、妊娠・出産することができる支援の充実と、地域全体ですべての子どもや若者、子育て家庭を支え合う社会の実現を図る。

(1) 安心して妊娠・出産できる支援の充実

区分	重要業績評価指標 (KPI)	現状値		目標値	
産出	産婦に占める産婦健診受診者の割合	H30	90.0%	R4	100%
成果	精神的にイライラしたり、育児に負担を感じる人の割合	H30	11.2%	R4	0%

<主な施策事業>

- 安心して妊娠・出産できる環境の充実
 - ・妊娠・出産の希望がかなう支援の充実
 - ・妊娠から産後までの健康支援の充実
- 学校・家庭・地域が相互に連携・協力した教育活動の充実
 - ・家庭教育支援の充実
 - ・子どもと大人もともに学び育つ教育活動の充実

(2) 家庭や地域の養育力を向上するための支援の充実

区分	重要業績評価指標 (KPI)	現状値		目標値	
産出	地域で子育てを支援している人の数	H30	1,594 人	R4	2,000 人
成果	困難を抱える児童のうち、養育環境が改善された児童の割合	H30	40.8%	R4	50%

<主な施策事業>

- 子ども・若者の健全育成環境の充実
 - ・子ども・若者が自主的に活動できる環境づくりの推進
 - ・子どもの育ちと若者の自立を支援する環境の充実
- 子どもを守り育てる支援の充実
 - ・子どもの貧困対策の充実
 - ・健全な養育環境づくりの推進
 - ・個別配慮の必要な児童への支援の充実
- 学校・家庭・地域が相互に連携・協力した教育活動の充実（再掲）
 - ・家庭教育支援の充実
 - ・子どもと大人がともに学び育つ教育活動の充実

◆ すべての子育て家庭を支援するための教育・保育サービスの充実を図る。

区分	重要業績評価指標 (KPI)	現状値		目標値	
産出	地域子育て拠点事業(子育てサロン)の登録者数	H30	7,053 人	R4	9,000 人
成果	子育てに不安や悩みを持つ人の割合	H30	58.9%	R4	30.0%

<主な施策事業>

- 子育て支援の充実
 - ・全ての子育て家庭に対する子育て支援の充実
 - ・仕事と子育ての両立支援の充実
- 男女共同参画の推進（再掲）
 - ・男女共同参画意識の醸成
 - ・地域・社会における男女共同参画の推進
 - ・職業生活における女性活躍の推進

- ◆ 女性や高齢者，障がい者，外国人など誰もが健康で自立した生活を送りながら，あらゆる場面で活躍できる社会の実現を図る。

(1) 誰もが活躍できる社会の実現

区分	重要業績評価指標 (KPI)	現状値		目標値	
		産出	男女共同参画推進啓発講座の受講者数	H30	1,269人
成果	審議会委員に占める女性の割合	H30	25.5%	R4	30%

<主な施策事業>

- 自己を磨き社会を支える学習の推進
 - ・主体的な学習活動への支援
 - ・社会性を高める学習の推進
 - ・今日的課題に対応した取組の推進
- 学んだ成果を生かした活動の推進
 - ・多様な主体による学習機会の提供
 - ・学習活動を支える人材の育成
 - ・郷土愛や地域理解を促進する取組の推進
- 高齢者の生きがいつくりの推進
 - ・高齢者の自主的な健康づくりの促進
 - ・高齢者の社会参加の促進
- 障がい者の社会的自立の促進
 - ・障がい者の就労支援の充実
 - ・障がい者の社会参加の促進
 - ・障がい者への理解と配慮の促進
- 福祉のこころをはぐくむ人づくりの推進
 - ・福祉のこころ醸成と交流活動の促進
 - ・福祉教育の推進と福祉に関する人材の育成
- 共に支え合う地域社会づくりの推進
 - ・市民の主体的な地域活動への支援
 - ・共に支え合う地域ネットワークづくり
- かけがえのない個人の尊重
 - ・人権擁護の推進
 - ・男女間のあらゆる暴力の根絶
 - ・平和啓発活動の充実
- 男女共同参画の推進（再掲）
 - ・男女共同参画意識の醸成
 - ・地域・社会における男女共同参画の推進
 - ・職業生活における女性活躍の推進
- 多文化共生の推進
 - ・外国人住民の生活環境の充実
 - ・外国人住民との相互理解の促進
- 就労・雇用対策の充実
 - ・多様な人材の就職と雇用支援の充実
 - ・働きやすい労働環境づくりの推進

(2) 健康で自立し、安心して生活が送れる社会の実現

区分	重要業績評価指標 (KPI)	現状値		目標値	
産出	健康ポイント事業参加者数(累計)	H30	8,869 人	R4	22,000 人
成果	日常生活における歩数	H30	20～64 歳男性 7,128 歩 20～64 歳女性 5,020 歩	R4	20～64 歳男性 9,000 歩 20～64 歳女性 8,500 歩

<主な施策事業>

- ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
 - ・各世代におけるスポーツ活動の促進
 - ・障がい者スポーツ活動の促進
 - ・様々な世代が集うスポーツ活動の促進
- スポーツ活動環境の充実
 - ・地域におけるスポーツ活動の推進
 - ・スポーツの参加機会の拡大
 - ・スポーツ施設や場の充実
- スポーツを支える人材の育成・団体の活性化
 - ・スポーツ指導者の育成・活用
 - ・スポーツ団体の活動支援
- 健康づくりの推進
 - ・社会全体で取り組む健康づくりの推進
 - ・疾病予防対策の推進
 - ・保健医療サービスの推進
- 地域医療体制の充実
 - ・救急医療体制の充実強化
 - ・健康被害発生の未然防止
 - ・安心かつ良質な医療体制の確保
- 支え合いによる高齢者の日常生活の充実
 - ・地域支え合い活動の推進
 - ・介護サービスの充実
 - ・多様で柔軟な日常生活を補うサービスの提供
 - ・認知症高齢者等対策の充実
- 地域包括ケアシステムの構築・推進
 - ・高齢者に対する総合的なケアマネジメント機能の強化
 - ・医療・介護連携の充実
 - ・地域における包括的な支援体制の整備
- 障がい者の地域生活支援の充実
 - ・障がい者の相談支援の充実
 - ・地域生活移行支援の充実
 - ・障がい者の日常生活支援の充実
 - ・障がい児の教育・療育体制の充実
- 安心して暮らせる福祉基盤の充実
 - ・多様な福祉サービスの充実
 - ・生活困窮世帯への支援の充実
 - ・快適な生活基盤の計画的な整備
- 消費生活の向上
 - ・消費行動に対する支援の充実
 - ・消費者被害からの保護
- 食品の安全性の向上
 - ・食品健康危害防止の推進
 - ・食品関係施設等の衛生管理の向上
 - ・食の安全に関する情報提供
- 生活衛生環境の向上
 - ・生活衛生関係施設等の監視・指導の充実
 - ・愛護動物の適正管理と衛生害虫等の自主防除の推進

働く場や魅力の創出などによる東京圏等からの流入人口・関係人口の拡大を図る

将来にわたって本市の活力を維持していくため、幅広い分野での「人づくり」を進めるとともに、地域産業の活性化を図り、市内での安定した雇用を創出するとともに、本市の魅力の創出・発信や、本市への移住を希望する住民を積極的に受け入れる体制の整備などにより、新たな人の流れをつくることで、東京圏等からの流入人口・関係人口の拡大を図ります。

また、将来的な移住への裾野を広げ、地域活性化に寄与するものとして、市外に主に居住しており、まちづくりや副業・兼業など多様な形で本市と関わりを持つ「関係人口」の拡大に向け、本市の魅力の発信に取り組みます。

1 講ずべき施策に関する基本的方向

- ◆ 第一次産業から第三次産業まで「創造力」「耐久力」「循環力」さらには「稼ぐ力」を高め、人や企業から選ばれる都市を実現する。
- ◆ 地域産業を支える地域人材の育成や、未来を生き抜く力を育成する教育など、幅広い分野での「人づくり」を進める。
- ◆ 本市への移住を希望する住民を積極的に受け入れる体制づくりなど、特に若い世代の女性の東京圏からの流入人口の増加を図るとともに、東京圏の住民や企業に対し、本市と多様な形で関わりを持ち、将来的な移住等に繋げる「関係人口」の創出・拡大を図る。
- ◆ 本市の魅力を広く国内外に発信することで、来訪者の増加を図るとともに、本市での定住を促進する。

成果指標	現状値		目標値	
	年次	数値	達成度	数値
東京圏から本市への転入者数 (H29からの累計)	H30	10,948人	R4	34,173人
宇都宮市に魅力や愛着を感じる市民の割合	H29	78.6%	R4	85.4%

2 具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指標

◆ 本市の産業構造や自然環境を踏まえた上で、市内に安定した雇用を創出することで、本市の人口の定着を図る。

(1) 企業立地・集積の促進と地域産業の創造性・発展性の向上

区分	重要業績評価指標 (KPI)	現状値		目標値	
産出	企業立地補助金・企業定着促進 拡大再投資補助金件数(累計)	H30	16 件	R4	21 件
成果	製造品出荷額	H30	2,122,210 百万円	R4	2,272,275 百万円

<主な施策事業>

- 地域特性を生かした産業集積の促進
 - ・ 成長産業の振興
 - ・ 産業集積・立地の促進
- 新規開業・新事業創出の促進
 - ・ 起業家の創出と育成
 - ・ 新事業・新分野への進出の促進
- 魅力ある商業の振興
 - ・ 魅力ある中心商業地の創出
 - ・ 地域社会の核となる商店街の強化
 - ・ 魅力ある商店づくりの促進
- 安定した経営基盤の確立
 - ・ 資金調達の円滑化
 - ・ 経営体質・基盤の強化
 - ・ 経済団体との連携強化
- 中小企業の経営・技術革新の促進（再掲）
 - ・ 高度技術開発の促進
 - ・ 先進的企業経営の促進
 - ・ 地域産業を担う人材の育成
- 流通機能の充実
 - ・ 市場機能の充実
 - ・ 物流機能の強化

(2) 農林業の生産力・販売力・地域力の向上

区分	重要業績評価指標 (KPI)	現状値		目標値	
産出	ほ場整備実施面積	H30	7,362ha	R4	7,410ha
成果	農業所得 1,000 万円超の認定農業者数	H30	120 経営体	R4	128 経営体

<主な施策事業>

- 農林業を支える担い手の確保・育成
 - ・意欲ある担い手の確保・育成
 - ・地域農業を支える担い手づくり
- 農林業経営を支える生産体制の強化
 - ・生産性の高い土地基盤の整備・保全
 - ・生産体制の安定性・効率性の向上
 - ・市場に選ばれる農産物の生産振興
- 生産者と消費者を結ぶ流通・販売戦略の強化
 - ・農産物の販路拡大
 - ・農産物のブランド化推進
- 環境と調和した農林業の推進
 - ・農資源・農村環境の保全推進
 - ・森林保全整備の推進

- ◆ 地域産業を支える地域人材の育成や、未来を生き抜く力を育成する教育など、幅広い分野での「人づくり」を進める。

(1) 市民協働によるまちづくりの推進

区分	重要業績評価指標 (KPI)	現状値		目標値	
		年度	数値	年度	数値
産出	まちづくり活動応援事業登録者数(累計)	H30	193人	R4	17,000人
成果	まちづくりセンターとボランティアセンター登録団体数	H30	602団体	R4	657団体

<主な施策事業>

- 協働によるまちづくりの推進
 - ・自発的な協働意欲の醸成
 - ・まちづくり活動への参加機会と環境の充実
 - ・まちづくり活動団体の活力の維持
 - ・まちづくり活動主体の連携・協力の促進
- 地域主体のまちづくりの促進
 - ・日常生活の安全安心を支えるきずなづくりの推進
 - ・地域が一体となったまちづくりの推進

(2) 未来を生き抜く力を育成する教育の推進

区分	重要業績評価指標 (KPI)	現状値		目標値	
産出	授業の半分以上を英語で行っている中学校教員の割合	H30	79.3%	R4	85.4%
成果	英検3級以上の英語力を有する中学3年生の割合	H30	48.6%	R4	60.0%

<主な施策事業>

- 成長の基盤となる知・徳・体の育成
 - ・確かな学力を育む教育の推進
 - ・豊かな心を育む教育の推進
 - ・健康で安全な生活を実現する力を生む教育の推進
- 未来を生き抜く力の育成
 - ・グローバル社会に主体的に向き合い、郷土愛を醸成する教育の推進
 - ・情報社会と科学技術の進展に主体的に向き合う教育の推進
- 教育環境の充実
 - ・校舎・体育館等整備の推進
 - ・学校ICT化の推進
 - ・学校施設の改善整備
- 多様な児童生徒に応じた指導・支援の推進
 - ・インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進
 - ・いじめ・不登校対策の充実
 - ・多様な教育的ニーズへの対応
- 教職員の資質向上と学校の組織力の向上
 - ・教職員の資質・能力の向上
 - ・学校のチーム体制の強化
- 幼児教育の推進
 - ・幼児教育の充実
- 高校、高等教育の充実・支援
 - ・高校、高等教育機関等との連携強化
 - ・教育資金負担軽減策の充実
- 地域とともにある学校づくりの推進（再掲）
 - ・全市的な学校運営教育活動の充実
 - ・主体性と独自性を生かした学校経営の推進
 - ・地域と連携・協働した学校づくりの推進
- 学校・家庭・地域が相互に連携・協力した教育活動の充実（再掲）
 - ・家庭教育支援の充実
 - ・子どもと大人もともに学び育つ教育活動の充実

◆ 本市への移住を希望する住民を積極的に受け入れる体制づくりなど、特に若い世代の女性の東京圏からの流入人口の増加を図るとともに、東京圏の住民や企業に対し、本市と多様な形で関わりを持ち、将来的な移住等に繋げる「関係人口」の創出・拡大を図る。

(1) 移住・定住の促進と関係人口の拡大

区分	重要業績評価指標 (KPI)	現状値		目標値	
産出	①移住・定住に関する相談件数	H30	①135件	R4	①600件
	②SNS等を活用した魅力発信件数		②221件		②300件
成果	宇都宮に良いイメージがあると感じている人の割合(市内・市外)	H29	市内 86.1% 市外 65.6%	R4	市内 91% 市外 71%

<主な施策事業>

- 都市ブランド戦略の推進
 - ・市民の誇りの獲得
 - ・市外からの憧れの獲得
- 移住・定住の促進
 - ・相談機能の充実
 - ・情報発信の強化
- 関係人口の拡大
 - ・東京圏における活動交流拠点の創出などによる本市の情報発信の強化
- 市民の市政への参加促進
 - ・市民と行政の行政情報の共有化の推進
 - ・市民の意見の反映に向けた仕組みの構築
- 地域特性を生かした産業集積の促進（再掲）
 - ・成長産業の振興
 - ・産業集積・立地の促進
- 都市の魅力の発掘・創出・ブラッシュアップ
 - ・魅力となる資源の発掘・創出
 - ・魅力ある資源のブラッシュアップ

- ◆ 本市の魅力を広く国内外に発信することで、来訪者の増加を図るとともに、本市での定住を促進する。

(1) 個性豊かな観光と交流の創出

区分	重要業績評価指標 (KPI)	現状値		目標値	
産出	観光ボランティアガイド養成講座の累計受講者数	H30	265 人	R4	350 人
成果	訪問して満足したと感じている来訪者の割合	H30	78.2%	R4	85.0%

<主な施策事業>

- 戦略的観光の推進
 - ・観光セールスの強化
 - ・広域観光事業の推進
 - ・インバウンドの拡大
 - ・都市と農村の交流促進
- おもてなしの充実
 - ・おもてなしのある受入体制の充実
 - ・外国人観光客へのおもてなしの充実
- 都市の魅力の発掘・創出・ブラッシュアップ（再掲）
 - ・魅力となる資源の発掘・創出
 - ・魅力ある資源のブラッシュアップ
- 移住・定住の促進（再掲）
 - ・相談機能の充実
 - ・情報発信の強化

(2) 暮らしに息づく文化の創造・活用の推進

区分	重要業績評価指標 (KPI)	現状値		目標値	
産出	文化資源の周知啓発事業参加者数	H30	39,820 人	R4	40,000 人
成果	文化財展示施設利用者数	H30	169,402 人	R4	178,000 人

<主な施策事業>

- 文化活動の充実
 - ・文化を身近に感じ、活動できる環境づくりの推進
 - ・文化をつなぐ人材・団体の育成・支援の推進
- 文化の創造・継承，保存・活用
 - ・宇都宮文化の創造・継承の推進
 - ・文化資源の保存・活用の推進
 - ・文化の力を生かしたまちづくりの推進

便利で暮らしやすいまち，ネットワーク型コンパクトシティを実現する

将来にわたって市民生活の質や都市の活力を維持・向上し，安全・安心で持続的に発展できるまちを実現するため，本市の中心市街地や各地域の既存コミュニティなどの地域特性を踏まえた各種都市機能を集積する「拠点化」と，都市の骨格となる交通から日常生活の身近な移動を支える交通まで，階層性を持った総合的な交通ネットワークによって拠点間の連携・補完を図る「ネットワーク化」を一体的に進める「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成を推進します。

また，LRT整備を契機としたLRT沿線のまちづくりに取り組み，産業活動や経済活性化，交流人口の増加など，本市のポテンシャルを最大限生かし，更なる発展につなげていきます。

さらに，飛躍的に進化するAIやIoTなどのICTの恩恵を誰もが受けられ，豊かで幸せに生活できる社会を構築するとともに，台風等の局地的な豪雨災害に対応するための総合的な治水・雨水対策の推進等あらゆる災害や危機への対応や備えを強化するなど安全・安心なまちづくりを推進します。

1 講ずべき施策に関する基本的方向

- ◆ 地域特性に応じた機能や居住の誘導を図る拠点化の促進と，地域で安心して暮らし続けられる社会を実現する。
- ◆ 本市の特性を生かした産業・観光を維持・発展させる都市を実現する。
- ◆ 交通ネットワークが整備された利便性の高い都市を実現する。
- ◆ 様々な分野における市民の身近な暮らしの利便性向上や安全・安心で活力あるまちの形成に向け，AIやIoTなどのICTの利活用の促進を図る。
- ◆ SDGsを原動力とした経済・社会・環境の三側面が調和した持続発展可能な都市を実現する。
- ◆ 安全・安心かつ効率的で健全な都市運営を実現する。

成果指標	現状値		目標値	
	年度	数値	年度	数値
公共交通年間利用者	H30	3,395 万人	R4	3,500 万人
市内人口に占める都市拠点・地域拠点の人口割合	H28	19.4%	R4	20.1%

2 具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指標

- ◆ 地域特性に応じた機能や居住の誘導を図る拠点化の促進と、地域で安心して暮らし続けられる社会を実現する。

(1) 都市拠点・地域拠点の形成

区分	重要業績評価指標 (KPI)	現状値		目標値	
産出	①都市拠点・地域拠点内に新規立地する誘導施設数 ②都市拠点・地域拠点における市街地開発事業等実施数	H30	①5 施設 ②3 地区	R4	①30 件 ②6 地区
成果	①都市拠点・地域拠点内に誘導する生活利便施設の充足状況 ②都市拠点内の人口	H30	①83.3% ②15,847 人	R4	①85.4% ②17,100 人

<主な施策事業>

- 地域特性に応じた土地利用の推進
 - ・土地利用の適正化
 - ・土地利用の円滑化
- 地域特性を生かした魅力ある拠点の形成
 - ・都市拠点の形成
 - ・地域拠点等の形成
- 地域特性に応じた安全で快適な市街地の形成
 - ・市街地の機能性・安全性の向上
 - ・緑と憩いの拠点づくりの推進
- 空き家・空き地対策の推進
 - ・空き家発生・増加の抑制
 - ・空き家有効活用の促進
- 都市景観の保全・創出
 - ・市民の景観に対する意識の高揚と主体的な取組の促進
 - ・地域特性を生かした都市景観づくりの推進
- 安心で快適な住まいづくりの促進
 - ・多様な居住ニーズに対応した支援の充実
 - ・住宅セーフティネット機能の充実
 - ・居住誘導支援の充実
 - ・住宅の安全性・快適性の向上

(2) 健康で自立し、安心して生活が送れる社会の実現（再掲）

区分	重要業績評価指標 (KPI)	現状値		目標値	
産出	健康ポイント事業参加者数(累計)	H30	8,869 人	R4	22,000 人
成果	日常生活における歩数	H30	20～64 歳男性 7,128 歩 20～64 歳女性 5,020 歩	R4	20～64 歳男性 9,000 歩 20～64 歳女性 8,500 歩

<主な施策事業>

- ライフステージ当に応じたスポーツ活動の推進
 - ・各世代におけるスポーツ活動の促進
 - ・障がい者スポーツ活動の促進
 - ・様々な世代が集うスポーツ活動の促進
- スポーツ活動環境の充実
 - ・地域におけるスポーツ活動の推進
 - ・スポーツの参加機会の拡大
 - ・スポーツ施設や場の充実
- スポーツを支える人材の育成・団体の活性化
 - ・スポーツ指導者の育成・活用
 - ・スポーツ団体の活動支援
- 健康づくりの推進
 - ・社会全体で取り組む健康づくりの推進
 - ・疾病予防対策の推進
 - ・保健医療サービスの推進
- 地域医療体制の充実
 - ・救急医療体制の充実強化
 - ・健康被害発生の未然防止
 - ・安心かつ良質な医療体制の確保
- 支え合いによる高齢者の日常生活の充実
 - ・地域支え合い活動の推進
 - ・介護サービスの充実
 - ・多様で柔軟な日常生活を補うサービスの提供
 - ・認知症高齢者等対策の充実
- 地域包括ケアシステムの構築・推進
 - ・高齢者に対する総合的なケアマネジメント機能の強化
 - ・医療・介護連携の充実
 - ・地域における包括的な支援体制の整備
- 障がい者の地域生活支援の充実
 - ・障がい者の相談支援の充実
 - ・地域生活移行支援の充実
 - ・障がい者の日常生活支援の充実
 - ・障がい児の教育・療育体制の充実
- 安心して暮らせる福祉基盤の充実
 - ・多様な福祉サービスの充実
 - ・生活困窮世帯への支援の充実
 - ・快適な生活基盤の計画的な整備

◆ 本市の特性を生かした産業・観光を維持・発展させる都市を実現する。

(1) 高い競争力を生み出す産業拠点の形成

区分	重要業績評価指標 (KPI)	現状値		目標値	
産出	企業立地補助金・企業定着促進拡大再投資補助金件数(累計)(再掲)	H30	16 件	R4	21 件
成果	製造品出荷額(再掲)	H30	2,122,210 百万円	R4	2,272,275 百万円

<主な施策事業>

- 地域特性を生かした産業集積の促進 (再掲)
 - ・成長産業の振興
 - ・産業集積・立地の促進
- 新規開業・新事業創出の促進 (再掲)
 - ・起業家の創出と育成
 - ・新事業・新分野への進出の促進

(2) 特色ある地域空間を生み出す観光拠点の形成

区分	重要業績評価指標 (KPI)	現状値		目標値	
産出	①観光振興促進事業費補助金の年平均交付件数 ②冷熱エネルギー関連事業の平均新規参入者事業所件数	H30	①2 件 ②1 件	R4	①3 件 ②1 件
成果	大谷地域内の事業所数	H30	102 事業所	R4	130 事業所

<主な施策事業>

- 観光地・大谷の地域活性化の推進
 - ・地域資源の最大限の有効活用
 - ・地域振興の基軸となる「観光」を支える機能の充実
 - ・持続可能な地域振興の推進
- 都市の魅力の発掘・創出・ブラッシュアップ(再掲)
 - ・魅力ある資源のブラッシュアップ
 - ・魅力となる資源の発掘・創出
- 戦略的観光の推進 (再掲)
 - ・観光セールスの強化
 - ・広域観光事業の推進
 - ・インバウンドの拡大
 - ・都市と農村の交流促進
- おもてなしの充実 (再掲)
 - ・おもてなしのある受入体制の充実
 - ・外国人観光客へのおもてなしの充実
- 文化の創造・継承, 保存・活用 (再掲)
 - ・宇都宮文化の創造・継承の推進
 - ・文化資源の保存・活用の推進
 - ・文化の力を生かしたまちづくりの推進

◆ 交通ネットワークが整備された利便性の高い都市を実現する。

(1) 公共交通ネットワークの充実

区分	重要業績評価指標 (KPI)	現状値		目標値	
産出	バス走行距離	H30	28,230 km / 日	R4	30,500km / 日
成果	公共交通カバー率	H30	91.6%	R4	現状より増加

<主な施策事業>

- 公共交通ネットワークの充実
 - ・LRTの整備
 - ・交通結節機能の充実
 - ・公共交通サービスの向上
 - ・公共交通の利用促進

(2) 道路ネットワークの充実

区分	重要業績評価指標 (KPI)	現状値		目標値	
産出	「橋梁長寿命化計画」における修繕済橋梁数	H30	56 橋	R4	81 橋
成果	都市計画道路の整備率	H30	70.8%	R4	72.7%

<主な施策事業>

- 道路ネットワークの充実
 - ・幹線道路の整備・機能の充実
 - ・道路環境の向上と機能保全
 - ・安全な自転車利用環境の創出
- 自転車利用環境の充実
 - ・安全な自転車利用環境の創出
 - ・快適な自転車利用環境の創出
 - ・自転車利用・活用の促進

- ◆ 様々な分野における市民の身近な暮らしの利便性向上や安全・安心で活力あるまちの形成に向け、AIやIoTなどのICTの利活用の促進を図る。

区分	重要業績評価指標 (KPI)	現状値		目標値	
産出	①位置情報を付加したオープンデータ数	H30	①38件	R4	①72件
	②行政サービスのスマートフォンアプリ公開数		②5個		②10個
成果	GIS(まちかど情報マップ)へのアクセス数	H30	357,740件	R4	330,000件

<主な施策事業>

- 情報化の推進
 - ・ICTを活用した行政運営の効率化・高度化（行政情報化）
 - ・市民・事業者のICT利活用促進（地域情報化）
 - ・情報セキュリティ対策の強化
- 官民連携の「Uスマート推進協議会」による先進技術の利活用
 - ・ルネッサンス大谷による大谷地域の活性化
 - ・スマート・モビリティサービスの実現
 - ・スマート・ホスピタリティの実現
 - ・スマート・エネルギーマネジメントの実現
 - ・データ・プラットフォームの構築

◆ SDGsを原動力とした経済・社会・環境の三側面が調和した持続発展可能な都市を実現する。

(1) SDGs (持続可能な開発目標) の達成に向けた取組の推進

区分	重要業績評価指標 (KPI)	現状値		目標値	
		現状値	現状値	目標値	目標値
産出	SDGs関連セミナーの参加者数 (累計)	H30	なし	R4	720人
成果	年間の観光入込客数	H30	15,126千人	R4	15,500千人
	公共交通カバー率(再掲)	H30	91.6%	R4	現状より増加
	1世帯当たりの二酸化炭素排出量	H30	7.76t	R4	6.20t

<主な施策事業>

- SDGsの推進
 - ・人づくりプラットフォームの構築等によるSDGsの推進
- 戦略的観光の推進 (再掲)
 - ・観光セールスの強化
 - ・広域観光事業の推進
 - ・インバウンドの拡大
 - ・都市と農村の交流促進
- 観光地・大谷の地域活性化の推進 (再掲)
 - ・地域資源の最大限の有効活用
 - ・地域振興の基軸となる「観光」を支える機能の充実
 - ・持続可能な地域振興の推進
- 危機に対する体制・都市基盤の強化
 - ・防災・減災対策の強化
 - ・都市基盤の防災性の強化
- 総合的な治水・雨水対策の推進
 - ・治水対策の推進
 - ・雨水対策の推進
- 消防・救急体制の充実
 - ・消防局・消防署の強化
- 地域包括ケアシステムの構築・推進 (再掲)
 - ・高齢者に対する総合的なケアマネジメント機能の強化
 - ・医療・介護連携の充実
 - ・地域における包括的な支援体制の整備
- 安心して妊娠・出産できる環境の充実 (再掲)
 - ・妊娠・出産の希望がかなう支援の充実
 - ・妊娠から産後までの健康支援の充実
- 未来を生き抜く力の育成 (再掲)
 - ・グローバル社会に主体的に向き合い、郷土愛を醸成する教育の推進
 - ・情報社会と科学技術の進展に主体的に向き合う教育の推進
- 男女共同参画の推進 (再掲)
 - ・男女共同参画意識の醸成
 - ・地域・社会における男女共同参画の推進
 - ・職業生活における女性活躍の推進
- 地域特性を生かした魅力ある拠点の形成 (再掲)
 - ・都市拠点の形成
 - ・地域拠点等の形成
- 公共交通ネットワークの充実 (再掲)
 - ・LRTの整備
 - ・交通結節機能の充実
 - ・公共交通サービスの向上
 - ・公共交通の利用促進

(2) 環境負荷の低減と自然環境の保全

区分	重要業績評価指標 (KPI)	現状値		目標値	
産出	太陽光発電設備導入世帯数 (累計)	H30	16,552 世帯	R4	21,000 世帯
成果	1世帯当たりの二酸化炭素排 放量(再掲)	H30	7.76t	R4	6.20t

<主な施策事業>

- 環境保全行動の推進
 - ・「もったいない」こころの醸成
 - ・環境について自ら学び，行動する人材の育成
 - ・「もったいない」の実践の場と機会の充実
- 地球温暖化対策の推進
 - ・省エネルギー・低炭素化の推進
 - ・自立分散型の再生エネルギー等の普及促進
 - ・環境負荷の少ないまちづくりの推進
- ごみの発生抑制，資源の循環利用の推進
 - ・ごみの発生抑制の促進
 - ・適正な資源循環利用の推進
- 廃棄物の適正処理の推進
 - ・収集・処理体制の適正化の推進
 - ・廃棄物に係る監視・指導の強化
- 良好な生活環境の確保
 - ・環境調査，監視等の充実
 - ・発生源対策の充実
- 生物多様性の保全
 - ・生物多様性保全意識の醸成
 - ・生物多様性保全対策の推進
- 水と緑の保全・創出
 - ・緑地保全の推進
 - ・都市緑化の推進
 - ・緑を支える人材の育成・活用
 - ・河川環境の保全

◆ 安全・安心かつ効率的で健全な都市運営を実現する。

(1) 安全・安心な都市の実現

区分	重要業績評価指標 (KPI)	現状値		目標値	
産出	公共施設の雨水貯留施設の設置容量	H30	1,794 m ³	R4	1,993 m ³
成果	河川の整備率	H30	62.3%	R4	62.8%
	公共下水道雨水幹線整備率	H30	55.6%	R4	56.7%

<主な施策事業>

- 危機に対する体制・都市基盤の強化（再掲）
 - ・防災・減災対策の強化
 - ・都市基盤の防災性の強化
- 総合的な治水・雨水対策の推進（再掲）
 - ・治水対策の推進
 - ・雨水対策の推進
- 消防・救急体制の充実（再掲）
 - ・消防局・消防署の強化
- 防犯対策の充実
 - ・市民の防犯意識の高揚
 - ・地域の防犯体制の充実
 - ・地域の防犯環境整備の推進

(2) 効率的で健全な都市運営の実現

区分	重要業績評価指標 (KPI)	現状値		目標値	
産出	市税等の収納率	H30	97.5%	R4	前年度の収納率を上回る
成果	①経常収支比率	H30	①: 92.0%	R4	①: 80% 台
	②公債費負担比率		②: 12.1%		②: 15% 以内

<主な施策事業>

- 安定した上下水道事業の推進
 - ・安全で安心な水道水の供給
 - ・下水の適正処理の推進
 - ・施設の適正な管理・機能向上
- 顧客に信頼される経営の推進
 - ・最良なサービスの提供
 - ・環境負荷低減の推進
 - ・健全な経営の推進

3 総合戦略の着実な推進に向けて

(1) 総合戦略の進行管理について

【 評価 】

総合戦略の達成度や進捗管理については、基本目標の成果指標や重要業績評価指標（K P I）により達成度や進捗状況进行评估・検証します。

【 施策の検証・改善 】

総合戦略に盛り込んだ施策・事業については、社会経済状況の変化などに適切かつ柔軟に対応できるよう、毎年度実施する「市民意識調査」の結果や、「行政評価」の結果などを活用しながら、総合的な視点から検証・改善を行います。

「行政評価」

市が実施する政策・施策・事業について「どのような成果があったか」、
「当初設定した目標が達成できているか」などの視点から、他都市との
比較なども含めて総合的に評価・検証を行い、次年度以降の施策・事業の
立案や見直しに活用します。

【 P D C Aサイクルによる推進 】

上記の取組により、『総合戦略（P l a n）』－『事業実施（D o）』－
『行政評価（C h e c k）』－『総合戦略の見直し（A c t i o n）』のP D C Aサイクルをつ
くり、総合戦略の着実な推進を確保します。

令和4年度に中間評価を行い、総合計画との指標・施策の整合を図るなど、必要に応じて見直しを図る。


















【 進捗状況の公表 】

総合戦略の施策・事業の進捗状況等については、毎年度の「行政評価」結果において公表します。

(2) 市民等からの意見反映

P D C Aサイクルによる総合戦略の推進にあたっては、毎年度実施している市民意識調査などにより、市民の評価や意見を把握していきます。

SDGsの17の目標との関係性

基本目標	基本的方向	ゴール 1	ゴール 2	ゴール 3	ゴール 4	ゴール 5	ゴール 6	ゴール 7	ゴール 8	ゴール 9	ゴール 10	ゴール 11	ゴール 12	ゴール 13	ゴール 14	ゴール 15	ゴール 16	ゴール 17	
																			
I	結婚や子どもを持つことを願う若い世代の希望がかなえられるよう、経済的な安定や結婚につながる支援などの充実を図る。	○				○			○	○								○	
	市民が安心して、妊娠・出産・子育てをすることができるよう切れ目のない支援を行うとともに、地域全体ですべての子どもや若者、子育て家庭を支え合う社会の実現を図る。	○			○														
	すべての子育て家庭を支援するための教育・保育サービスの充実を図る。					○			○	○									○
	女性や高齢者、障がい者、外国人などが健康で自立した生活を送りながら、あらゆる場面で活躍できる社会の実現を図る。			○			○			○		○						○	○
II	第一次産業から第三次産業まで「創造力」「耐久力」「循環力」さらには「稼ぐ力」を高め、人や企業から選ばれる都市を実現する。		○						○	○						○			
	地域産業を支える地域人材の育成や、未来を生き抜く力を育成する教育など、幅広い分野での「人づくり」を進める。	○		○	○	○					○								○
	本市への移住を希望する住民を積極的に受け入れる体制づくりなど、特に若い世代の女性の東京圏からの流入人口の増加を図るとともに、東京圏の住民や企業に対し、本市と多様な形で関わりを持ち、将来的な移住等に繋げる「関係人口」の創出・拡大を図る。									○	○		○						○
	本市の魅力を広く国内外に発信することで、来訪者の増加を図るとともに、本市での定住を促進する。									○			○						○
III	地域特性に応じた機能や居住の誘導を図る拠点化の促進と、地域で安心して暮らし続けられる社会を実現する。									○		○				○			
	本市の特性を生かした産業・観光を維持・発展させる都市を実現する。								○	○		○							
	交通ネットワークが整備された利便性の高い都市を実現する。										○		○						
	様々な分野における市民の身近な暮らしの利便性向上や安全・安心で活力あるまちの形成に向け、AIやIoTなどのICTの利活用の促進を図る。										○								○
	SDGsを原動力とした経済・社会・環境の三側面が調和した持続発展可能な都市を実現する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
安全・安心かつ効率的で健全な都市運営を実現する。							○			○		○		○	○			○	